



新しい時代の新しい国際貢献

**次世代の人材育成：ICT国際協力の
現場から実践報告**

2008年12月12日

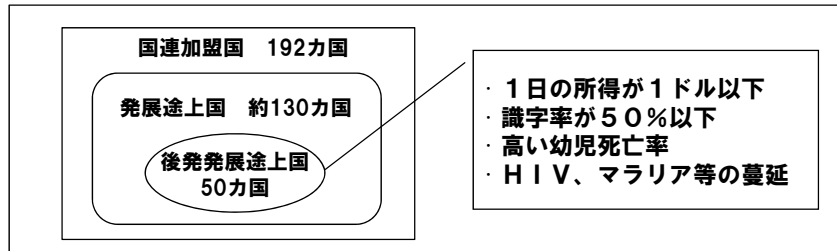
アライアンス・フォーラム財団

マネージング・ディレクター 古川 拓

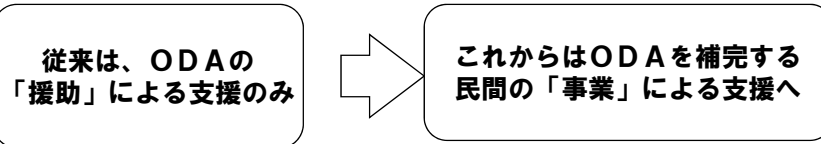
2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

次世代技術を活用した民間による途上国支援



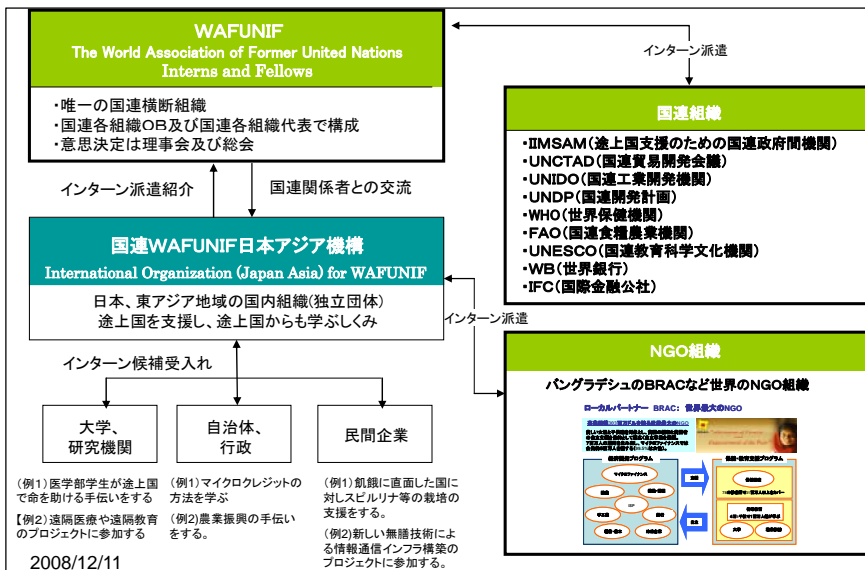
教育や医療のインフラ水準を改善することが急務！



2008/12/12

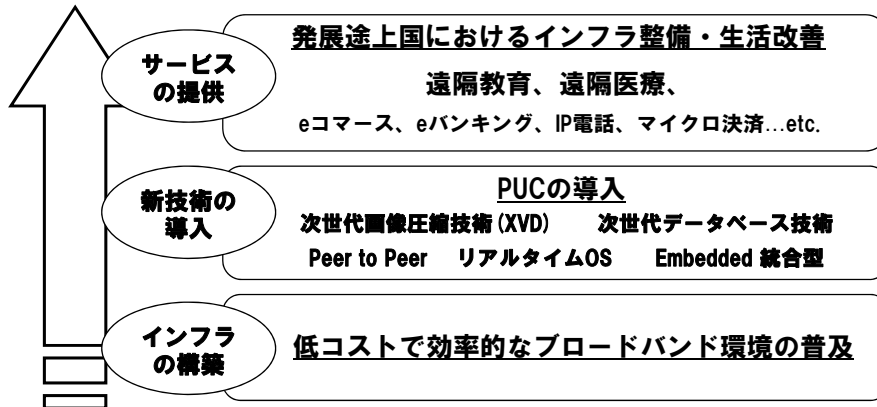
© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

国連WAFUNIF日本アジア機構の活動



次世代技術を活用した民間による途上国支援

PUC（パーベイスブ・ユビキタス・コミュニケーション）の技術を用いた発展途上国における飛躍的なインフラ整備・生活改善の実現

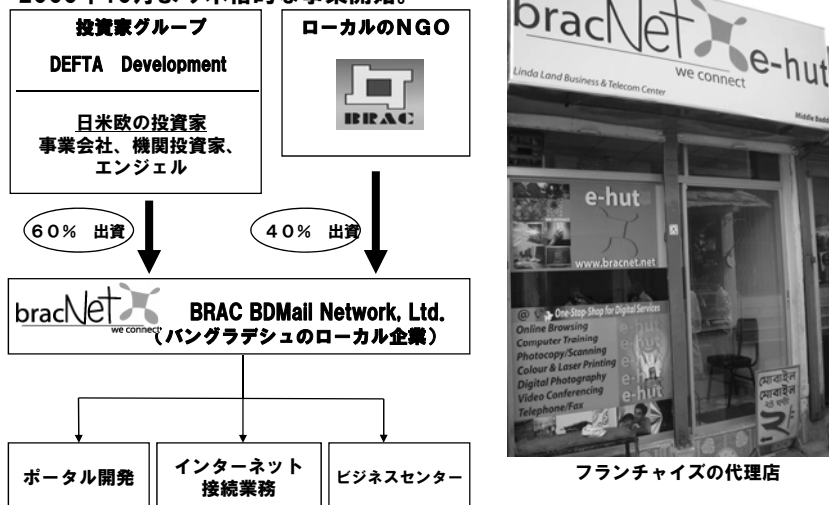


2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

最初のプロジェクト： Bangladesh の bracNet

2005年10月より本格的な事業開始。



2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

BRACとの提携：2009年7月

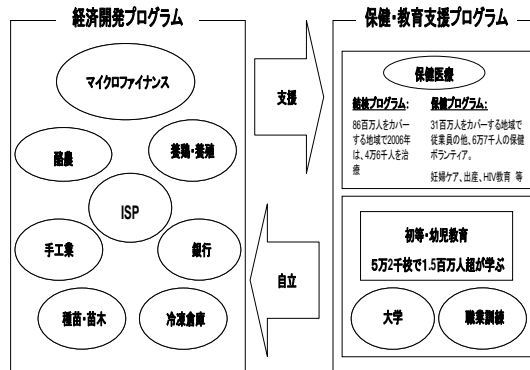
BRACとの協定書の調印



アライアンス・フォーラム/国連WAFUNIF日本アジア機構は、BRACの推進する全分野において、インターンの派遣を含み、グローバルに共同することで合意。

事業規模330万ドルを誇る世界最大のNGO

BRACは、貧しい女性と子供達を対象とし、貧困の緩和と貧困者の自立支援を目的として幅広く自立事業を展開。10万人を超える従事員を擁し、7百万人の雇用を創出。現在会員約5百万人を擁する（99.5%は女性）。



2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

第一号インターン派遣

XVDを使った途上国における遠隔医療、遠隔教育を導入するための、最初のデモンストレーションを企画、実施。

インターン： 大坪 雅治氏
 期間：2008年6月～8月（3ヶ月間）
 赴任地：ダッカ市、バングラデシュ

現地での調査、関係者との調整、システムの設計、実施チームの組成などを本部からの指導の下、全て自力で行う。

⇒ **結果、大成功！！**

XVDを利用した遠隔教育、遠隔医療のデモンストレーションの実施の様様。スクリーンに映っているのが大坪君。



2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

次世代画像圧縮技術 XVD

巨大なハイビジョンの画像データであっても、低帯域でリアルタイムに伝送し、且つ、品質を保つことは、XVDの技術でのみ実現可能。

途上国の通信インフラ上でも、遠隔教育や遠隔医療に必要な画像配信が可能。



大型の中継車の機能がバックバックの中に収まる。

2006年2月
日本放送協会放送技術展
最優秀賞受賞



ハイビジョンの画像

データのサイズ
(圧縮前)
1.2Gbps

TVスタジオの画像

216Mbps

TV受信機の画像

120Mbps

VHSの画像

30Mbps

2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

XVDを利用した遠隔教育

BRACは、全国の農村に、5万校の小学校と千以上の図書館を持ち、独自のカリキュラムで運営。これらをインターネットで繋ぎ、教育のインフラを改善することを目指している。



BRACの図書館



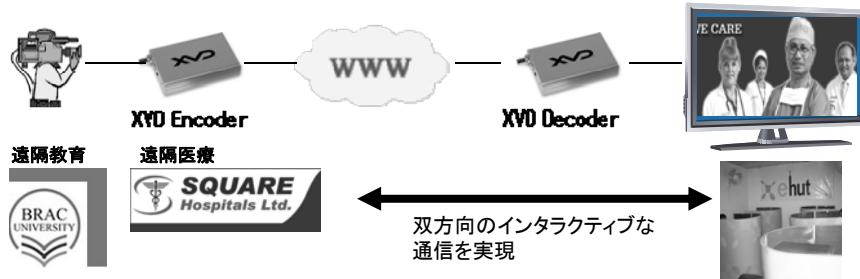
BRACの図書館内に
実際にあるPC。

2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

XVD、途上国での遠隔医療、遠隔教育の実験に大成功！

低ビットレートでも破綻しない、IPベースのDVDクオリティー・ビデオ電話会議システムを途上国に普及



実験

バングラデシュのダッカ市内の病院や大学を農村のインターネットカフェ（オフィス）eHutをつなぐ実験。

実験結果

- 500kbpsで、とても鮮明な画質を配信
- 128kbpsの低帯域でもクリアな画像を実現
- 手を振るといった動作にも劣化しない安定性
- 64kbpsでも対応するスケーラビリティ

2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.

古川拓（Taku Furukawa）

アライアンス・フォーラム財団

理事、マネージング・ディレクター、国連WAFUNIF日本アジア機構担当

株式会社デフタ・キャピタル取締役

DEFTA Development Holdings, LLC Director

BRAC BDMail Network, Ltd. Director

略歴

1966年東京生まれ。京都大学法学部卒業後、住友銀行（現三井住友銀行）に入行。アメリカで延べ10年間、最先端のファイナンスに携わり、幅広い事業分野の知見を身につける。2004年、テクノロジーリスクからマーケットリスクの全般に渡り、事業経営という側面から革新的な技術を育てるべく、銀行を退職して独立。自ら画像認識の研究開発会社を立ち上げると共に、デフタ・パートナーズの原丈人会長に師事。デフタ・グループの推進する民間による途上国支援を担当し、バングラデシュのbracNet社（無線技術を利用したインターネット接続事業）にDirectorに就任。創業時より、事業計画、資金調達から組織運営まで、経営全般に関わる。また、アライアンス・フォーラム財団の理事、マネージング・ディレクターとして「国連WAFUNIF日本アジア機構」（WAFUNIFは国連のNGO）を担当し、原丈人氏の提唱している援助ではなく、民間の事業による新しい途上国支援の仕組みを推進している。デフタ・グループが日本に初めて展開するベンチャー・ファンドの取締役も兼任。

2008/12/12

© 2008 米国公益財団法人アライアンス・フォーラム財団 All rights reserved.